

## 総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市賤機都市山村交流センター		
課名	中山間地振興課		
指定管理者名	賤機都市山村交流センター運営委員会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和3年6月7日(月)		
評価委員 ※( )内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 気田 敏弘(中山間地振興担当部長) ②委員 杉本 守(参与兼農業政策課長) ③" 寺田 雅俊(中山間地振興課課長補佐) ④" 杉山美樹江(公益財団法人するが観光企画局 地域連携部長) ⑤" 松下由美子(静岡県温泉協会書記)		
評価点 (各委員平均点)	81.6点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>管理運營業務は、業務仕様書及び事業計画書に従って適切に履行されているほか、適時施設の補修を行うなど安心・安全で快適な利用環境の向上に努めていると考えている。</p> <p>アンケート調査において、職員の応対等に対して利用者から高評価を得ている点なども評価できる。</p> <p>運営委員から情報収集するなどしてオクシズの人材等を活用して多彩な講座を実施するとともに、人気講座については初めての人を優先するなど、リピーターだけでなく新規利用者の増加に努めている。</p> <p>コロナ対策については、3密が生じる恐れがある館内での飲食禁止、バレーボールや卓球、調理系講座、音楽系サークルの利用などの休止や、定期的な換気や消毒を実施するなど、利用者の安心安全に努めた。</p> <p>また、大規模イベントは休止したが、規模を縮小・分散し、複数日に渡ってのイベント実施や、人数の削減、作ったものは持ち帰ってもらうなど対策を講じて調理系講座を再開するなど、指定管理</p>		

者の創意工夫が見られた。

オクシズ地域の情報発信に努めるなど、オクシズの玄関口に立地することから、当施設の誘客はもとよりオクシズ地域全体の誘客につながることを意識した施設運営を行っており、今後も継続してオクシズの玄関口としてオクシズへの誘客につながる施設運営を期待したい。

## 総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡県賤機都市山村交流センター]  
 指定管理者名 [賤機都市山村交流センター運営委員会]

課名 [中山間地振興課]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。	16	17	17	18	15	16.6
(イ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。	7	8	8	9	8	8.0
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。	6	8	8	9	8	7.8
(エ) 予算に基づき適正に執行されているか。	6	8	8	9	8	7.8
小 計	35	41	41	45	39	40.2
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。	7	9	8	10	8	8.4
(イ) 経費削減に関する工夫がなされているか。	3	4	4	5	3	3.8
小 計	10	13	12	15	11	12.2
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者アンケートにおいて高い評価を受けた。	9	9	9	10	9	9.2
(イ) 利用者の苦情等に速やかに対応した。	4	4	4	3	4	3.8
小 計	13	13	13	13	13	13.0
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 交流人口の増加を図る工夫がされた。	8	8	7	10	8	8.2
(イ) 地域振興施設としての役割が果たされた。	7	8	7	10	8	8.0
小 計	15	16	14	20	16	16.2
合 計	73	83	80	93	79	81.6

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

講座の実施回数が目標に達している。  
来客者への対応、挨拶ができており、リピーターにつながる。  
講座の募集方法、内容の検討に工夫が見られる。  
苦情はほとんどなく、あっても丁寧に対応している。

【B評価委員】

適切に管理、運営されている。  
講座のネーミングから内容までよく練られている。  
館長以下、全職員が丁寧な対応を心掛けている。  
館の利用者だけでなく、駐車場利用の車やバイクなども含め、利用状況が把握できると  
なお良い。

【C評価委員】

事業計画どおり実施されている。  
地元の素材、人材が活用されている。  
接客態度は、おもてなしに心掛けている。  
入館者増を図るために新規講座を実施している。

【D評価委員】

運営委員との連携をとりながら現状に即した運営がされている。  
農業体験講座を全5回で開催し、回を重ねるごとに交流が深まる内容となっている。講師は実際に農作物の育成を指導できる人であり安心して受講できると思った。  
笑顔で挨拶することを徹底し、高い評価を受けているところは大変良いと感じた。  
新規の参加者を優先することにより、広く施設を知ってもらえる仕組みにしている。  
オクシズの玄関口としての役割も果たしている。

【E評価委員】

各年度とも適切な管理と、講座等の開催がなされている。  
コロナ禍においても屋内施設として感染対策を施しながら施設の維持管理に努めたものと評価したい。  
地域住民のみならず都市部の住民も参画できるような講座を実施するとともに施設の特性を活かした情報発信にも取り組んだ。  
応募多数の講座に対する利用者配慮等、工夫した開講方法がとられリピーターだけでなく新規受講者の増加につながっている。  
指定期間を通じて高い利用者満足度が得られており、日頃からの挨拶・声かけ等が評価につながったものと考えられる。  
オクシズ玄関口の施設としてオクシズの魅力を発信する取り組みが継続されており、来訪者の休憩、地域交流施設としての役割も十分に果たしている。

特筆すべき取り組みは見当たらないものの毎年堅実に事業を展開し、地域間交流に寄与する講座等の開設により施設として一定の成果を挙げている。

今後も、休日以外でも利用が高まるような取り組みを積極的に展開してほしい。

#### 評価委員会としての意見

各年度とも適切な管理運営がなされている。

地元の素材や人材を活用し、地域住民のみならず都市部の住民も参画できるような講座を実施している。また、新規参加者を優先や毎年新規講座を行うなど、募集方法や内容を工夫しており、リピーターだけでなく新規受講者の増加につなげている。

日頃から館長以下全職員が、笑顔や挨拶を徹底し、丁寧な対応をすることで利用者から高い評価を得ていることは評価できる。

地域間交流に寄与する講座等の開設により、交流センターとして一定の成果を挙げるとともに、オクシズの魅力を発信する取り組みを継続して行っており、オクシズの玄関口の施設としての取り組みを今後も積極的に展開してほしい。